

## 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: サンケイダイロン
供給者の会社名称, 住所及び電話番号	
会社名称	: サンケイ化学株式会社
住所	: 〒110-0005 東京都台東区上野7丁目6-11 (第一下谷ビル)
担当部門	: 開発部
電話番号	: 03-3845-7951
FAX番号	: 03-3845-7950
緊急連絡先	: 同上
整理番号	: B - 177
推奨用途及び使用上の制限	: 農薬

## 2. 危険有害性の要約

## 化学品のGHS分類

物理化学的危険性	可燃性固体	: 分類できない
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	: 区分に該当しない
	急性毒性(経皮)	: 区分に該当しない
	急性毒性(吸入)	: 区分に該当しない
	皮膚腐食性/刺激性	: 区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分に該当しない
	呼吸器感作性	: 分類できない
	皮膚感作性	: 区分1B
	生殖細胞変異原性	: 区分2
	発がん性	: 区分1A
	生殖毒性	: 分類できない
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分3(気道刺激性)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分1(血液系) 区分2(泌尿器、呼吸器、免疫系、腎臓)
	環境に対する有害性	誤えん有害性
	水生環境有害性 短期(急性)	: 区分1
	水生環境有害性 長期(慢性)	: 区分1

上記に記載がないものは、「区分に該当しない」か「分類できない」である。

## GHSラベル要素

## 絵表示



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
H341 遺伝性疾患のおそれの疑い  
H350 発がんのおそれ  
H335 呼吸器への刺激のおそれ  
H372 長期的にわたる、又は反復ばく露による血液系の障害  
H373 長期的にわたる、又は反復ばく露による泌尿器、呼吸器、免疫系、腎臓の障害のおそれ  
H400 水生生物に非常に強い毒性  
H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

作成日 2022年12月9日

改訂日 2024年7月10日

- 注意書き : 【安全対策】
- P201 使用前に取扱説明書を入手すること。  
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。  
P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
P264 取扱い後は手をよく洗うこと。  
P270 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
P273 環境への放出を避けること。  
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面等を着用すること。
- : 【応急措置】
- P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。  
P304+P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
P308+P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。  
P312 気分が悪い時は医師に連絡すること。  
P314 気分が悪い時は、医師の診察/手当てを受けること。  
P321 特別な処置が必要である（4. 応急措置を参照）。  
P333+P313 皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。  
P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
P391 漏出物を回収すること。
- : 【保管】
- P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
P405 施錠して保管すること。
- : 【廃棄】
- P501 内容物や容器は、当該規則に従い都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して、適切に廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名	含有量
3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素 (一般名: DCMU)	80.0%
その他成分	20.0%

危険有害成分

化学名又は一般名	含有量	CAS No.	化管法 管理番号	官報公示整理番号	
				化審法	安衛法
DCMU	80.0%	330-54-1	1種169	(3)-2194	4-(13)-42
結晶質シリカ(石英)	1.3%	14808-60-7	-	-	-

### 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
皮膚に付着した場合 : 皮膚は多量の水で洗浄する。  
汚染された衣類を脱ぐこと。  
皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
- 眼に入った場合 : 予防措置として眼を水ですすぐ。  
飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。

作成日 2022年12月9日

改訂日 2024年7月10日

## 急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

- : 皮膚に付着した場合、アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
- 医師に対する特別な注意事項 : 対症的に治療すること。

## 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤
- 使ってはならない消火剤 : データなし
- 火災時の特有の危険有害性 : 有毒な煙を放出する可能性がある。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
  - : 適切な保護具を着用して作業する。
  - 自給式呼吸器。
  - 完全防護服。

## 6. 漏出時の措置

## 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- : 漏出エリアを換気する。
- 皮膚、眼との接触を避ける。
- 粉じん、ヒュームの吸入を避けること。
- 適切な保護具を着用して作業する。
- 詳細については、「8. ばく露防止及び保護措置」を参照。

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

## 封じ込め及び浄化の方法及び機材

- : 漏出物を回収すること。
- 製品は機械的に回収する。
- 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い 技術的対策 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 安全取扱注意事項 : ラベルをよく読む。記載以外に使用しない。
- 取扱いは換気の良い場所で行い、作業場の換気は十分行う。
- 取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。
- 屋外での取扱いはなるべく風上から作業する。
- 取扱いの都度、容器を密閉する。
- 眼、皮膚、衣類に付けないこと。
- 適切な保護具を着用すること。
- 粉じん、ヒュームの吸入を避けること。
- 局所排気・全体排気 : 「8. ばく露防止及び保護措置」を参照
- 接触回避 : 「10. 安定性及び反応性」を参照
- 衛生対策 : 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 製品取扱い後には必ず手を洗う。
- 保管 安全な保管条件 : 食物、飲料等と区別すること。
- 換気の良い場所で保管すること。
- 涼しいところに置くこと。
- 小児の手の届く所へ置かない。
- 安全な容器包装材料 : 国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

作成日 2022年12月9日

改訂日 2024年7月10日

## 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

ACGIH (2022年)

DCMU

: TLV -TWA 10 mg /m<sup>3</sup>

設備対策

: 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

呼吸用保護具

: 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。

手の保護具

: 保護用手袋

眼、顔面の保護具

: 安全メガネ

皮膚及び身体の保護具

: 適切な保護衣を着用する。

環境へのばく露の制限と監視

: 環境への放出を避けること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態

: 固体 (粉末)

色

: 類白色

臭い

: データなし

融点/凝固点

: 158.6 - 159.1 °C (DCMU)

沸点又は初留点及び沸騰範囲

: データなし

可燃性

: データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

: データなし

引火点

: データなし

自然発火点

: データなし

分解温度

: データなし

pH

: データなし

動粘性率

: データなし

溶解度

: データなし

n-オクタノール/水分配係数(log 値)

: データなし

蒸気圧

: データなし

密度及び/又は相対密度

: データなし

相対ガス密度

: データなし

粒子特性

: データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性

: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。

化学的安定性

: 通常の下では安定。

危険有害反応可能性

: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。

避けるべき条件

: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません。

「7. 取扱い及び保管上の注意」参照。

混触危険物質

: データなし

危険有害な分解生成物

: 高温で有毒ガスを放出することがある。

## 11. 有害性情報

急性毒性

経口

: 区分に該当しない

LD50 ラット(雄) 2800mg/kg

経皮

: 区分に該当しない

LD50 ラット(雄雌) &gt;7000mg/kg

作成日 2022年12月9日

改訂日 2024年7月10日

吸入(気体)	: 区分に該当しない(分類対象外)
(蒸気)	: 区分に該当しない(分類対象外)
(粉じん、ミスト)	: 分類できない
皮膚腐食性/刺激性	: 区分に該当しない 刺激性なし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分に該当しない 刺激性なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
呼吸器感作性	: データが不足しているため分類できない。
皮膚感作性	: 区分1B アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
生殖細胞変異原性	: 成分の情報より区分2とした。 (成分) 結晶質シリカ: 区分2
発がん性	: 成分の情報より区分1Aとした。 (成分) DCMU: 区分1B 結晶質シリカ: 区分1A
生殖毒性	: データが不足しているため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 成分の情報より区分3(気道刺激性)とした。 (成分) DCMU: 区分3(気道刺激性)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 成分の情報より、区分1(血液系)、区分2(泌尿器、呼吸器、免疫系、腎臓)とした。 (成分) DCMU: 区分1(血液系)、区分2(泌尿器) 結晶質シリカ: 区分1(呼吸器、免疫系、腎臓)
誤えん有害性	: データが不足しているため分類できない。

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

水生環境有害性 短期(急性)	: 水生生物に非常に強い毒性
水生環境有害性 長期(慢性)	: 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

### 生態毒性

魚(コイ)	: LC50(96hr)	28mg/L
甲殻類(ミジンコ)	: EC50(48hr)	12mg/L
藻類(ムレミカヅキ藻)	: ErC50(72hr)	0.017 mg/L
	: NOECr(72hr)	0.0022 mg/l

残留性・分解性	: 情報なし
生態蓄積性	: 情報なし
土壌中の移動性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: 情報なし

作成日 2022年12月9日

改訂日 2024年7月10日

**13. 廃棄上の注意**

化学品(残余廃棄物)、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

- 残余廃棄物 : 関連法規並びに地方自治体の規則に従い、廃棄物処理業者に処理を委託する等により適切に廃棄すること。
- 汚染容器及び包装 : 関連法規並びに地方自治体の規則に従って適切に処理を行うこと。

**14. 輸送上の注意**

- 国際規制 国連番号 : UN3077  
 品名 : 環境有害物質(固体)  
 国連分類 : 9  
 容器等級 : III
- 国内規制 陸上輸送 : 道路法等の規定に従う。  
 海上輸送 : 船舶安全法の規定に従う。  
 航空輸送 : 航空法の規定に従う。
- 特別の安全対策 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。  
 車両、船舶には保護具(手袋、メガネ、マスク等)を常備する他、緊急時の処理に必要な消火器、工具等を備えておく。
- 緊急時応急措置指針番号 : 171

**15. 適用法令**

化学物質排出把握管理促進法

- 第1種指定化学物質 : 3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素(管理番号:169)

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条)

- : 3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素  
 結晶質シリカ

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2)

- : 3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素  
 結晶質シリカ

がん原性物質(則第577条の2)

- : 結晶質シリカ(石英)

外国為替及び外国貿易法

- : 輸出貿易管理令別表第1の16の項

毒劇物取締法

- : 該当しない

船舶安全法

- : 有害性物質(危規則第2,3条危険物告示別表第1)

航空法

- : その他の有害物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)

農薬取締法

- : 登録番号 第24636号

**16. その他の情報**

参考文献

- ・JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学物質等の分類方法
- ・JIS Z 7253:2019 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 — ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)
- ・独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE-CHRIP)
- ・ダイロンSDS(保土谷化学工業株式会社 2022年5月作成)

作成日 2022年12月9日

改訂日 2024年7月10日

この安全データシートは現時点で入手可能な資料等をもとに作成しておりますが、物理化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証も成すものではありません。また注意事項は、通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いを行なう場合には自らの責任において用途に適した処置を講ずることが必要であることを理解した上で活用して下さい。